

平成 23 年版 林道規程 一運用と解説一

訂正箇所	誤	正
111 ページ 下から 5 行目	また、片勾配をすりつける場合の路面の回転速度 ( $\omega$ ) は、次式によって	また、片勾配をすりつける場合の路面の回転速度 ( $\omega$ ) は、次式によって
118 ページ 下から 2 行目	上記計算式を用い、A B ( $\ell$ ) を 8m、4m として、緩和接線の長さ $(\text{キ})$ を計算	上記計算式を用い、A B ( $\ell$ ) を 8m、4m として、緩和接線の長さ $(\text{L})$ を計算
138 ページ 上から 4 行目	なお、縦断勾配変移点間の距離は、 <b>20m 又は縦断曲線長を最小とする。</b>	なお、縦断勾配変移点間の距離は、 <b>50m を標準とする。</b>